

(資料5)



認定特定非営利活動法人
コミュニティリーダー ひゅーる ぽん

事業計画書

2021

(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

活動の基本方針

2021年度 認定NPO法人ひゅーるぽん 活動指針

輝く場となるために一笑顔を作る人へ、幸せを創造する場へ

私たちの団体は、1981年の夏に誕生しました。

その20年後の2001年の夏、NPO法人としての歩みを開始しました。

そして今年。私たちの団体は41年目を迎えることとなります。

最初の20年は、発達につまずきのある子どもたちとの出会いの中で、その子らと一緒に生きていかれるご家族の強さと優しさ、それら家族と共に歩む社会福祉協議会さん、民生委員さんなどの地域のみなさんのあたたかな思いに心揺さぶられた20年でした。私たちの団体に「コミュニティリーダー」という名前がついているのは、そうしたみなさんのようになりたいという願いからでした。

2001年からの20年は、NPO法人となり、家庭や学校以外の子どもたちの育ちの場を常設し、子どもたちとの新たなあゆみをはじめた20年でした。この活動は、2013年に児童福祉施設「児童発達支援センター」として新生し、地域の子どもの成長を支援する拠点となりました。また、地域の方から運営を受け継いだ障がいのある人の通所施設は、ぽんぽんとして生まれ変わり、彼らの表現活動を軸に生き生きとした社会参加を支援しています。同時に私たちの活動には、学生をはじめとする多くの人たちがボランティアとして参加し、私たちは共に成長をさせていただいています。また、障がいのある人たちの公募作品展としてはじめたアート・ルネッサンスが起点となり、表現活動を支援する広島県アートサポートセンターの活動へとつながっていきました。これら全ては、「この子らと世に光を」という思いで、彼らとともにより幸せな社会を創造するためのアプローチだと考えています。

そうして出会った子らも、気がつけば、すでに20歳、40歳を超えています。40年はあっという間でしたが、その間社会はいくつかの節目とともにめまぐるしく変わりました。数年前からよく耳にするようになった「持続可能な社会」という言葉を聞くと、ふと、社会は本当にいい方向へと向かっているのだろうかと不安に思うことがあります。つながりのなかで優しさを発揮した地域も、今はそのつながりの再構築の必要性が叫ばれています。そればかりか、このコロナ禍にあっては、私たち自身が「思いやり」を持って生きていくことの大切さがあちこちで言われ、「人を想う心」が確かに失われつつあるのだと気づかされます。時の総理大臣や行政がこぞって「自助」「共助」を強調するのも、見方を変えればそういうことによるのかもしれませんが。しかし、本来であれば、私たちの生き方は行政によって指示されるものではなく、私たち自らの生き方によって形作られなくてはならないはずなのです。

「不寛容」という言葉が人間関係を象徴する私たちの社会。福祉においてさえも、規制緩和、自由競争という流れの中で、うまみがあれば参入し、なくなれば撤退をする、障がいや支援、介護の程度を過大に見立て報酬を上げる…、などビジネス化する動きも当たり前に見受けられるようになりました。

そのような中、私たちはどうあるべきか。41年目の今年、私たちは大きな岐路に立たされた気がします。

小さな団体から始まった私たち。社会が決して豊かには変わったとは言えない中であっても私たちは大きく育てていただきました。だからこそ私たちは思うのです。私たちはどんなことがあっても「子ども（本人）の幸せと私たち社会の幸せの創造」この一点だけを大切に中心に置きたいと。NPO法人のまま児童発達支援センターを設立したのも、あえて社会福祉法人を選ばずに認定NPO法人を選んだのも、それは、行政が設計する福祉サービス以上の豊かで先駆的な心のこもった活動を行いたいと考えたからです。そしてそうすることこそが私たちの誇りでもあります。

これからの20年の私たち。これからは、私たち自身、そして私たちの活動及びその現場が、未来への希望や光を具現する人や場へと成長していくことを大切にしたい思います。だれもがその人らしくその力を最大限発揮して共に生きている、楽しく幸せに成長し合って生きている、そのあゆみの発信が社会全体を幸せに変える力になる、そんな希望を表す現場を創ることに力を注いでいきたいと思います。私たちができることは、私たち自身から、私たち自身のあり方から社会を変えていくことにほかならないと考えるからです。

今年まずは手始めに三つのことを行います。

まずひとつめ目は、私たち自身が光り輝くことです。ひゅーるぽんは、設立以来、ひとりひとりの自発性を大切にしてきた団体です。今後もそれは変わることはありません。一方で先ほど述べたように社会はどんどん変化し、複雑化しており、その対応や変革にはより一層の工夫や先見性が求められるようになったことを感じます。社会の困りごとに対して自発性を発揮して向かうだけではなく、前もって声なき声を聞取ったり、深く洞察したり、アプローチを工夫したり…、という力を高めていくことの必要性を痛感しています。私たちの現場が、子どもたちの大切な育ちにかかわらせていただく場である以上、適切にそしてバランスよく自発性が発揮できるように、専門性を高めることはもちろん、多職種の力、個人の経験の違いを融合させ、協働することで育ち合う力を高めていくことがより一層大切になると感じています。どんなことにも笑顔で協働して立ち向かっていく、そんなスタッフ集団を形成していくことが私たちが輝くということです。

そして二つ目は、活動自体を光り輝かせることです。これまで私たちは団体として数多くの取り組みを行ってきました。それら活動の中には、役割を終えようとしたものもあります。また制度の縛りの中で本当に必要なことができず忸怩たる思いを感じている活動もあります。今年、今一度私たちは活動全般を見直し再構築していこうと考えています。前例主義や制度の枠に縛られることなく、これまで蓄積した経験と考え方、ノウハウを生かして本当に必要とされること、大切なことを、縛られることなく心を込めて行っていきたいと思えます。親子サロンや地域へアウトリーチしていく巡回相談活動をさらにすすめ、保護者の不安を希望に変えるために、より一層の乳幼児期の初期相談の充実と支援の場づくりを行っていきたいと思えます。さらには、公的な支援の届きにくい不登校等の子どもたちの支援にも力を入れていきます。活動の成果を見直しながら、必要な活動を柔軟に身軽に展開していくことそれが活動を輝かせることにつながると考えています。

また、これらの活動は全て自主プログラムとなります。多くの方々の共感と支援をいただかないと進んで行かない事業でもあります。NPOとして私たちはそのための努力もしっかりしていく、そうすることもまさに活動に光をあてることになると思います。

三つ目は、活動の場を光り輝かせることです。ひよこ組、きつ組、ぽんぽんそれぞれの活動の場に毎日たくさんの魅力と笑顔があふれていること。さらには、親子サロン、地域食堂、アートルネッサンス、アートサポートセンターの活動など、その他私たちが行うすべての活動も同じように魅力と笑顔があること。そしてそこにいつもたくさんの人が集まっていること。去年は、コロナ禍の中で難しさもありました。しかし、だから何もできないと考えるのではなく、コロナでも工夫してできること、コロナだからこそその活動に知恵を絞り工夫して取り組みました。ITを使った活動もそのひとつですが、今年はそれもすすめて、もっと直接的でアナログな活動こそ大切に、工夫して取り組もうと思います。まずは、たくさんの魅力がつまったぽんぽんが生まれ変わっていきます。ギャラリー、カフェ、ショップなどを活用した面白い仕掛けを作っていこうと思います。日常的に人が集い交流が生まれること、そこに笑顔があふれること、それこそが活動の場が輝くことだと考えています。

ひゅーるぽんは、集う場であり、成長し合う場であり、そこから新たな未来への一歩が生まれる場です。

私たちは、今年、次の20年に向けた一歩を、次の20年が輝きを放つための新しい一歩を素敵なチーム、仲間、子どもたちとともに始めます。



1.運営に関わるプログラム

=その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

今年度も引き続き、認定NPOとして、運営基盤の強化と安定につなげていきます。広報紙「うるとらのほし」の発行や日頃からの積極的な情報発信などを行っていきます。私たちの活動のことをより多くの方々に理解していただき、共感の輪をさらに広げていけるようにしたいと思います。また、今の現状において、NPOである私たちだからこそできることを考え、行動していきたいと思っています。

1-1 各種運営会議

1-1-1 運営に関する会議

- 1-1-1-1 通常総会
- 1-1-1-2 顧問監事会
- 1-1-1-3 理事会
- 1-1-1-4 運営委員会
- 1-1-1-5 業務セクション会議
- 1-1-1-6 プログラム検討会議・プログラム検討委員会
- 1-1-1-7 こども発達支援センター運営委員会
- 1-1-1-8 合同ミーティング
- 1-1-1-9 所長会議
- 1-1-1-10 ディレクターミーティング

1-1-2 プログラム実施に関する会議

- 1-1-2-1 コミュニティスペース事業に関わるプログラム会議
- 1-1-2-2 まちづくり、ボランティア育成事業に関わるプロジェクト会議

1-2 活動支援プログラム

- 1-2-1 Hull Fan
- 1-2-2 一般寄付

1-3 広報プログラム

- 1-3-1 WEBによる情報発信
- 1-3-2 広報紙「うるとらのほし」年2回発行

1-4 研修

- 1-4-1 新人スタッフ研修
- 1-4-2 スタッフ研修
- 1-4-3 他団体主催の研修等への参加

2.コミュニティスペースプログラム

2-1.こども発達支援センター事業 =子どもたちの育ちの支援に関わる事業

2-1-1 児童発達支援（ひよこ組）=児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

昨年度のコロナ禍での活動経験をもとに、新しい視点で子どもたちのよりよい発達支援のあり方を考え、実践していきたいと思います。オンライン参観・懇談などは継続しながら、保護者の方に日々の活動の様子やねらいを知っていただいたり、現場での支援を具体的に見える形で伝えたりする機会を作ります。家庭での関わりや取り組みに繋げるとともに、保護者の方の学びや交流につながる機会も作り、ひよこ組と家庭とが連携して、そして保護者同士が繋がって、子どもたちを育てていくことを大切にしていきます。

また、低年齢からの専門的な発達支援のニーズの高まりにも応えていきたいと思います。地域に根ざした児童発達支援センターとして、私たちの専門性を活かすためにできることを考え、形にしていきます。

なお、子どもたちの支援にあたっては、研修への参加やケース検討等を通してスタッフの専門性の向上に努めることはもちろん、ひよこ組スタッフ間やセンター内専門職スタッフ間で連携をしながら、より多角的な視点で成長を見つめていきたいと思います。



事業目的	2歳から就学前までの発達に支援の必要な子ども達を対象とし、児童発達支援ガイドラインに基づき、生活や遊びの支援を行います。基本的な生活習慣の獲得や自立をはじめ、人・集団に対しての愛着心を育み、毎日をいきいきと過ごしていくための支援を行います。
事業内容	<p>ひゅーるぼん独自の「安心感を基盤とした交流感・有能感・自己決定感の醸成」を基盤として、児童発達支援ガイドラインに基づき、「健康・基本的な生活習慣、あそび、人とのかかわり、認知・コミュニケーション、地域とのかかわり、家族支援」の領域を軸にした支援を行います。また、季節や文化を大切にした発達支援を行います。</p> <p>(1) 活動計画 発達支援計画に基づいた支援を行います。</p> <p>(2) 行事予定</p> <p>4月：はじまりの会、こいのぼり製作 5月：徒歩遠足、個人懇談 6月：嘱託医健康診断 7月：七夕のつどい、プール開き、歯科検診 8月：水遊び 9月：年長児お泊まり会 10月：お月見クッキング、運動会、中間個人懇談 11月：お芋ほり、焼き芋会 12月：お餅つき、冬のお楽しみ会、嘱託医健康診断 1月：お正月あそび 2月：節分、期末個人懇談 3月：すだちの会</p>
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティアリーダーなど
事業費	35,428,694円

2-1-2 放課後等デイサービス事業（きっず組）

＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

今年度も様々な活動を通して子どもたちの社会力を高めます。低学年の子どもたちについては、安心感を高めていき、日々の集団遊びを通して友だちと過ごす楽しさや面白さを十分に育み、交流感の高まりにつなげます。高学年の子どもたちについては、日々の活動や行事などを通して、役割を担う場面を増やしていきます。少しずつ年上としての意識を高め、周りのことを考えて行動ができることにつなげていきたいと思えます。また、中学生以上の子どもたちは、勉強やクラブ活動などで、平日の通所日数は限られています。土曜日や夏休みなどの長期休暇に、自分たちが取り組みたいことを、自分たちで考え、企画し、達成できるように支援し、有能感や自己肯定感につなげていきます。子どもたちが、本人らしく、いきいきした笑顔で過ごせる活動の場にしていきたいと思えます。

また、学校等他機関との連携や保護者支援については、昨年度不十分だった反省を踏まえ、計画的に行なっていきます。学校等とは定期的な連絡等を行いながら、子どもたちの一貫した支援につなげていきます。保護者とは日々の送迎時や電話連絡などを通して思いを共有していきます。また、交流会や茶話会等の方法も配信利用やグループ分けして少人数で行う等の工夫をとりいれながら保護者同士のつながりを作ることも大切に支援していききたいと思えます。



事業目的	障がいのある子ども達に対して、子どもの思いや願いをくみ取り、大切に育む事を活動の基本とし、安心感を基盤に人や社会とつながって、いきいきと自己の力を発揮していけるよう育ちの支援を行います。
事業内容	<p>安心感を基盤に、交流感、有能感、自己決定感を育み、子ども達の社会力を高めるための支援を行います。さらに実際の指導に当たっては発達支援指針に基づいて「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6領域の発達支援を行います。</p> <p>(1) 活動計画 個別支援計画に基づき、自立した日常生活を営むために必要な支援、創作的活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供等を行います。</p> <p>(2) 行事予定 ※コロナの状況により、活動内容の変更および活動中止になる場合があります。</p> <p>4月：保護者茶話会 5月：映画観賞、保護者茶話会 6月：サイクリング、個人懇談（個別支援計画の確認） 7月：ぽんぽんととの交流レクリエーション 8月：キャンプ、夏祭り参加 9月：遠足、保護者茶話会 10月：個人懇談（個別支援計画の見直し）、運動会、サイクリング 11月：地域のお祭りへの参加 12月：冬のお楽しみ会、餅つき大会、保護者交流会 1月：雪遊び 2月：保護者茶話会 3月：旅行、お別れ会、個人懇談（個別支援計画の評価）</p> <p>(3) 個別支援については、基本的な生活習慣チェック表と社会力評価表を利用し、子どもたち一人ひとりの現在の状況と課題を促え直し、短期的、長期的な個別の支援計画を作成し支援を行います。また年齢別集団の目標を設定し、アプローチを行います。</p> <p>(4) こども発達支援センターとして、専門性を生かし地域社会で果たす役割を考察しながら、学校・関係機関・医療機関等との連携・協働による支援を行います。</p> <p>(5) ひよこ組、ぽんぽんととの合同の活動を行い、関係を深めるとともに、子ども達の成長の場面にします。</p> <p>(6) 個人懇談、保護者勉強会、交流会を通して保護者と思いを共有するとともに、保護者間のつながりを深めます。</p>
実施予定	通年
事業体制	スタッフ、ボランティアリーダー、外部協力者など
事業費	13,413,339円

2-1-3 保育所等訪問支援事業 = 児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

今年度は保護者が幼稚園等にこの事業の説明をしやすいようなツールを作成していくなど啓発活動にも力を入れていきたいと考えています。

事業目的	保育所等において、発達に支援が必要な子どもが集団生活に適應できるよう専門的支援を行います。
実施内容	障害児相談支援のプランにより当事業が必要と認められた児童への支援を行なっていきます。
実施予定	通年
事業体制	保育所等訪問支援事業担当スタッフ
事業費	2,757,671円

2-1-4 障害児相談支援事業 = 児童福祉法に規定する障害児地域支援事業 障害児指定特定相談支援事業 = 障害者総合支援法に規定する事業

昨年度に引き続き、子どもの育ちに関する相談、サービス等利用計画作成に関する相談に対応し、地域の発達に支援の必要な子どもたちの育ちを応援していきます。

広島市療育支援施設事業やセンター自主事業である「子育てサロンひゅーる」等とあわせて、保育士、保健師、社会福祉士等のスタッフが包括的に子どもの育ちに関する相談を受け、必要に応じて福祉サービスの申請・利用に関する相談や、利用計画の作成を行います。福祉サービスだけにとどまらず関係機関等と連携しながら、子どもと家族のより良い地域生活を応援していきます。

事業目的	地域の発達に支援が必要な子どもが自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう相談支援を行います。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> 一般的な育ちの支援に関する相談 通所や児童福祉サービスに関わる相談 豊かな地域生活をおくるための相談 他機関（行政、医療機関、保育園、幼稚園、学校等）との連携 ○ 障害児支援利用計画、サービス等利用計画の作成 ○ 障害者自立支援協議会安佐南地域部会への参加。
実施予定	通年
事業体制	スタッフ
事業費	4,299,933円

2-1-5 広島市療育支援施設事業 = 障害者総合支援法に規定する事業

昨年度の初期支援で、浮き彫りになってきた低年齢児の支援を今年度はより充実させ、必要なケースについては相談後すぐに集団支援「ぴよぴよくらぶ」をうけられる体制を法人全体で作っていきます。また、引き続き外部の団体と協働しながら地域の子育て支援センターとしての役割の強化をはかります。

事業目的	広島市より委託を受け、障がいのある子ども等の地域における生活を支えるため、身近な地域で療育指導、相談等が受けられる療育機能の充実を図り、地域の発達に支援が必要な子どもたちの福祉の向上を図ります。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひろばKUSUKUSU祇園・佐東への出張発達相談 ○ ひゅーるぽんでの個別の発達相談 ○ 子育てサロンの定期開催 地域の親子を対象に、遊びの支援・つどえる場の提供 ○ 家庭訪問 ○ 0～2歳児を対象とした集団支援「ぴよぴよくらぶ」の通年開催 ○ 幼稚園や保育園、学校への施設支援 <p>さまざまな支援方法を活用しながら、子育てが少しでも笑顔ですすめていけるような支援を行います。</p>
実施予定	通年
事業体制	スタッフ、ボランティアなど
事業費	2,757,670円



2-1-6 その他 こども発達支援センター自主事業 = 自主事業

事業目的	こども発達支援センターとしての専門機能を活かし、地域の中核的な発達支援施設としての役割を果たします。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援事業 月2回の子育てサロンの開催や、「水あそび」など季節行事を開催し、地域の親子が気軽に利用できるセンターをめざします。 ○ 公開研修の実施 子育てに関する勉強会を地域の保護者対象に実施します。 ○ 児童発達支援ひよこ組療育終了後の一時預かり事業 発達支援時間以降の一時預かり「ゆうやけひよこ ちっち」を実施し、家族が笑顔で生活できることを応援します。 ○ 児童発達支援ひよこ組退園後の保護者へのアフターフォロー事業 幼・保育園に通う子どもの保護者を対象とした「こっこくらぶ」、就学後の子どもの保護者を対象とした「こけこっこくらぶ」を開催し、保護者の悩みの解消や同じ悩みを持つ保護者同士の交流を図ります。コロナ禍が続いても実施できるよう必要に応じてオンラインなどの方法も取り入れていきます。 ○ 安佐南区こども発達支援事業所連絡会への参加 地域の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所との横の連携を図り、地域全体の発達支援の質を高めていくことをめざします。 ○ 学生やボランティアの積極的な受け入れ 昨年度は難しかったボランティアの受け入れを積極的に進め、地域の福祉拠点としての役割を担います。
実施予定	通年
事業体制	スタッフ
事業費	16,000円

2-2 コミュニティほっとスペースぽんぽん（＝就労継続支援B型事業所）

＝障がいのある人等をはじめとする成人の地域生活ならびに社会参画支援に関わる事業

障がいのある人が、人や社会と繋がりながら自分らしく生き生きと豊かに生きることを支援します。社会の中や人との繋がりの中で、一人ひとりが力を発揮していける姿を具体的にイメージしながら事業内容の見直しを行い、新たな一步を踏み出せるように取り組んでいきます。

その他の方々にも、私たちの拠点がこの地域にあることの良さや楽しさを感じてもらえる取り組みや幸せ感を伝えていく事業を、通所される方とともに行いたいと思います。通所者はもとより、来られた方々がここに流れるゆったりとした雰囲気の中で、安心して人とつながる気持ちを持ってもらえる拠点づくりを行っていききたいと思います。一つ的手段として、ギャラリーとカフェ・ショップスペースを活用していくこと、アートやアート製品を通して通所される方々と出会いつながる場を作ること、魅力を伝える企画の実施など、人がつながり広がる工夫を模索していききたいと思います。

事業目的	18歳以上の障がいのある人の就労、社会参画ならびに豊かな地域生活の支援を行うことを通して、人や社会とつながる喜びを感じながらいきいきと豊かに生きていくことを支援します。
実施内容	<p>(1) 人や社会とつながっていきいきと豊かに生きる社会生活支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アート製品づくり、製品販売、作業活動を通じた自分らしさを発揮する支援、および自立（自律）・社会参画支援。 ○ 日常生活能力、対人関係能力、社会生活能力の向上などの生きる力を身につけるための支援。医療機関との連携を含めた健康管理・維持増進に関わる取り組みの実施。人権擁護センターほっと「ほっとさん」の訪問の再開。 ○ アート創作活動や余暇活動を通じた生きがいの支援 <p>(2) あたたかなまちづくりの拠点となる活動</p> <p>ギャラリー・カフェ・ショップを活用した地域向けプログラムの企画の実施。 定期的な交流の場づくり。 アート作品の展示依頼。ワークショップ 開催などへの対応。</p> <p>(3) 利用相談や地域生活に関わる相談、利用希望者の見学・体験、実習生、ボランティア・アートサポーター、見学の受け入れなど。</p>
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティアリーダー、アートサポーターなど
事業費	14,838,923円



3.まちづくり・コミュニティボランティア育成プログラム

3-1 まちづくり

3-1-1 アートによるまちづくりプログラム

3-1-1-1 アート・ルネッサンス2021 =まちづくりに関わる事業

昨年度のアート・ルネッサンスでは、例年とは違うWEBギャラリーでの作品展を実施しました。また、協賛企業等のご協力のもと、展覧会とは違う形で、身近な地域の中に作品展示を行いました。

今年度も、私たちが今まで大切に続けてきた、障がいのある人のありのままの表現が大切にされること、またその表現を側で支え、創作活動を共にするアートサポーターがつながり、高まり合うことができるよう、アートサポーターと協働の形でプログラムを実施します。会場での作品展という形だけにとらわれず、彼らのアートを今社会に浸透させていけるようにしていきたいと思っています。そのために、私たちがどのような役割を持ち、何を伝えていくか、そのためにはどういった手段や方法が効果的か、しっかり考えていきます。

事業目的	<ul style="list-style-type: none">○ 障がいのある人のアートが持つ魅力、価値を広く社会に広めていきます。○ アーティストと社会がつながる社会参画の場とします。○ 現場で制作するアーティスト、サポーター同士のつながりを広げます。
事業内容	<ul style="list-style-type: none">○ 障がいのある人の芸術作品を公募し、展示するなど社会に広める取り組みを行います。○ アーティスト、サポーターとの協働の形で開催します。
実施予定	2021年度
実施体制	事務局スタッフ、アートサポーター、ボランティア、アーティスト、協賛企業など
事業費	740,000円

3-1-1-2 幸せProducts. =まちづくりに関わる事業

幸せProducts.では、アートが日常の中にあるおもしろさを伝えることに取り組んでいきます。

企業へのアートレンタル事業を、施設、個人と協力し、継続していきます。アーティストへ対価を還元する一つのモデルとして発信し、そこから生まれる新たな展開を模索します。様々な協働の可能性を探り、アートが社会をおもしろくすることを示していきたいと思います。

事業目的	○ 社会の中で障がいのある人のアートの普及と障がいのある人の社会参画を促進します。 ○ アートをまちづくりに活かす取り組みを高めていきます。
実施内容	(1) アートレンタルの継続。実施状況の情報発信。 (2) アートを活用した、屋外展開の実施。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、アーティスト、アートサポーター、協力施設、外部専門家など
事業費	1,438,800円

3-1-1-3 アートスペース =まちづくりに関わる事業

事業目的	○ 障がいのある人のアートを支援するノウハウと資源を活用し、アートに取り組む環境を提供していきます。 ○ 地域へ開かれたアート教室を開催し、制作環境を高めていきます。 ○ アーティストの発掘とアートの社会化を目指していきます。
実施内容	(1) アートスペース絵画の開催。週1回。アーティストが刺激しあい、のびのびと作品づくりを行える制作環境の場を提供します。 (2) アートスペース陶芸の開催。月2回。外部より専門の講師を招き、自由な発想で個性的な作品づくりを行います。 (3) 障がいのある方・地域のニーズに応じて、外部よりアートの専門家を招き、アートスペースを開催します。 (4) 県内外の公募展への応募、作品の展示機会の提供等、作品を通じた社会参画を行います。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、外部講師
事業費	572,000円

3-1-1-4 アートサポートセンターひゅるる =まちづくりに関わる事業

アートサポートセンターとして、外部からのアート全般の問い合わせ、相談、協力依頼等の窓口となります。また、各プロジェクトチームと共にアートによるまちづくり事業を行います。延期されていたオリンピック・パラリンピックの開催が見込まれていることから、アートを取りまく社会の状況を見極め、今何が必要で、これからどんな活動をしていくべきかをしっかり考えていきたいと思えます。取り組みの目的をきちんと意識し、アートサポーターと心を通わせながら取り組んでいきます。

3-1-1-4-1 令和3年度広島県障害者芸術文化活動支援事業

=まちづくりに関わる事業

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者文化芸術活動に関わる、活動基盤の充実・強化。 ○ アートに関する、相談窓口。 ○ 今後の障がい者アートのあり方を考え、目標を共有する。
実施日時	通年
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県アートサポートセンターの運営 <li style="padding-left: 20px;">相談窓口の開設（相談員の配置） <li style="padding-left: 20px;">指導者の派遣 <li style="padding-left: 20px;">創作支援 <li style="padding-left: 20px;">人材育成など（権利保護に関する取り組み）
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、専門家協力委員、アートサポーター
事業費	広島県 令和3年度障害者文化芸術活動支援事業として実施 事業費：8,080,000円



3-1-1-4-2 アートサポートセンターひゅるる自主事業

=まちづくりに関わる事業

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ アートによるまちづくり事業と協働し、社会への普及啓発を行います。 ○ 障がい者アートの普及・発展に向けた取り組みを行います。 ○ 障がい者アートを取り巻く社会情勢を踏まえ、新しい視点を提案します。
実施日時	通年
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他機関、他施設などと協働した取り組みを行います。 ○ アート活動に関する、相談や協働の窓口になります。 ○ 必要に応じ、各施設・団体との協働で事業を実施します。 ○ アートスペース事業のサポートをします。 ○ 障がいのある人とともに創る演劇事業の協働・サポートをします。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、専門家協力委員、アートサポーター
事業費	103,200円

3-1-2 地域・社会啓発つながりづくりプログラム =まちづくりに関わる事業

事業目的	啓発活動とあわせて、地域住民やボランティアとつながりをつくったり、深めたりしていきながら、「ともに生きていく」地域づくりを目指します。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方とのつながりをつくり、深める「まつり」等の交流イベントを企画・開催をします。 ○ 地域の様々なサークルや団体との協働の輪を広げていきます。 ○ イベントでは子育て相談コーナーなどを設け、ひゅーるぼんの地域の中での役割を発信していきます。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティア、地域団体など
事業費	150,000円

3-1-3 地域協力プログラム =まちづくりに関わる事業

事業目的	地域行事の賑わいに貢献し、地域住民とつながりを深めます。
実施内容	公民館まつり、区民まつり等地域行事への協力を行います。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、通所児者、ボランティアなど
事業費	0円

3-1-4 地域交流プログラム 地域食堂「みんなおいでや～」 =まちづくりに関わる事業

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひゅーるぽんと地域・人がつながり、そのつながりを広げ深めます。 ○ 地域の人が出会いつながるきっかけの場にしていきます。 ○ つながりの中で見えてくる地域課題を見つけ解決に向けて動くきっかけの場とする とともに、これらのプロセスを通して私たちの活動の方向性について考えていく場 にします。
実施内容	新型コロナウイルス感染症の発生状況を見ながら、スタッフとボランティアが協働して地域の人へ会食やイベントを通した集いの場を作ります。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティアなど
事業費	概ね210,000円（上限240,000円 来場者により変動あり）

3-2 コミュニティボランティア育成プログラム

昨年度、コロナ禍でボランティア希望の学生を受け入れることが難しい状況が続きました。その中でどのようにしたら「会えなくてもつながりを持ち続けていけるか」を模索した1年でした。しかし、やはりボランティア活動をオンラインで行うことには限界があることや、直接かかわりあうことでお互いに様々なことを感じたり学びあえたりすることがあることを再認識しました。今年度は感染拡大に留意しながら、ボランティアの受け入れを再開していきたいと考えています。そして、引き続き「地域で力を発揮する人を育てる」という視点で、様々な団体と協働しながら事業を行っていききたいと思います。

3-2-1 ボランティアセンタープログラム

＝ボランティアおよびボランティア団体の参加・
育成支援、そのための助言に関わる事業

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアに関心のある人々を巻き込みながら、学び・学びあいの場を提供していきます。 ○私たちが展開する様々なプログラムに参加することを通じて、ボランティア・市民活動について相互に学び合う場を作ります。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) それぞれの拠点、行事等での高校生・大学生ボランティアの積極的な受け入れを行います。 (2) 高校や大学に訪問し先生とつながりをつくること、ボランティア募集ポスターや会報などによる情報発信を行うことなどを通して、学生の参加のしやすさにつなげます。 (3) 定期的なメールの配信による、活動情報や行事の案内を行います。 (4) ボランティア活動を通じた成長の場と相互に学び高まりあう場を提供します。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティア、地域団体など
事業費	320,000円



3-2-2 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議プログラム

= 緊急・災害時の支援に関わる事業

事業目的	「広島市災害ボランティア活動連絡調整会議」構成団体として、協働しながら災害に備え、災害時にはその対応にあたります。
実施内容	(1) 定例会議への参加 (2) 災害ボランティアセンター開設・運営シミュレーション等のセミナーへの参加 (3) その他
実施日時	通年
実施体制	スタッフ、協働団体
事業費	0円

3-2-3 講師・委員派遣

事業目的	講師や委員の派遣を通して、社会啓発、障がいのある子どもと大人の福祉の充実・ボランティア・NPO活動を推進するための社会基盤整備、まちづくりに関する提言を行います。同時に他団体とのネットワークを強化していきます。
実施内容	行政・学校・他団体等からの要請に応じて、講師・委員を派遣します。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ
事業費	0円

3-2-4 職場体験・実習生等の受け入れ

= その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

事業目的	教育現場と連携し、職場体験・実習生等の受け入れを行い、学生に学びの場を提供します。
事業内容	学校等からの要請に応じて受け入れを行います。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ
事業費	0円

3-2-5 その他・協力事業

広島市社会福祉協議会が主催で行うボランティアコーディネーター養成講座への運営協力

(資料6)

2021(令和3)年度予算

(単位：万円)

事業名		2020年度決算 (A)	2021年度予算 (B)	増減 (B-A)
収 益	法人事務局(運営)	407	223	△ 184
	こども発達支援センター	7,903	8,504	601
	ぽんぽん(就労B)	2,139	2,003	△ 136
	まちづくり(自主事業)	226	321	95
	まちづくり(受託事業)	809	808	△ 1
	ボランティア育成	0	32	32
	当初予算外収益(広島市受託)	189	0	△ 189
	当初予算外収益(コロナ関係)	868	0	△ 868
	収益 計(1)	12,541	11,891	△ 650
費 用	人件費	7,873	8,433	560
	人件費(賞与)	499	0	△ 499
	その他経費	1,871	2,436	565
	その他経費(減価償却費)	497	500	3
	当初予算外費用(広島市受託)	189	0	△ 189
	当初予算外費用(コロナ関係)	237	0	△ 237
	費用 計(2)	11,166	11,369	203
経常増減額(3)=(1)-(2)		1,375	522	△ 853
資 金 増 減	減価償却費の足し戻し	△ 497	△ 500	△ 3
	借入金等の返済による支出	725	725	0
	保険積立金の支払いによる支出	178	178	0
	将来的な修繕等への積立	300	60	△ 240
	資金増減(返済/積立) 計(4)	706	463	△ 243
現預金増減額(5)=(3)-(4)		669	59	△ 610
補足説明				
・ 目標通所率 きっず組 88%、ひよこ組 92%、ぽんぽん 59.5%				
・ 開所日は245日で計算 (2020年度予算と同じ)				
・ 千円未満は四捨五入				

特定非営利活動法人 コミュニティ・グー・ひゅーるぼん <令和3(2021)年度> 活動予算案

(単位：円)

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	経常収益(A)	人件費(B)	その他経費(C)	事業費または管理費計(D) B+C	配賦前当期経常増減額(E) A-B-C	共通経費配賦(F) ※1	経常費用(G) D+F	配賦後当期経常増減額(H) A-F
運営に関わるプログラム	運営	法人事務局	法人事務局	126,140	13,500,106	10,333,082	23,833,188	△ 23,707,048	△ 23,804,588	28,600	97,540
		活動支援プログラム	HullFan※2、一般寄付、指定寄付など	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0	0	1,600,000	0
		特別会計	売電	504,000	0	106,958	106,958	397,042	0	106,958	397,042
		運営に関わるプログラム合計			2,230,140	13,500,106	12,040,040	25,540,146	△ 23,310,006	△ 23,804,588	1,735,558
コミュニティスペースプログラム	こども発達支援センター	児童発達支援(ひよこ組)	児童発達支援(ひよこ組)	62,433,448	28,297,144	684,540	28,981,684	33,451,764	18,296,702	47,278,386	15,155,062
			児童発達支援(ひよこ組 給食)	5,804,501	4,394,172	2,052,838	6,447,010	△ 642,509	0	6,447,010	△ 642,509
			児童発達支援(ひよこ組)小計	68,237,949	32,691,316	2,737,378	35,428,694	32,809,255	18,296,702	53,725,396	14,512,553
			保育所等訪問支援	131,652	2,670,964	86,707	2,757,671	△ 2,626,019	36,791	2,794,462	△ 2,662,810
			その他(訪問支援事業)	0	0	0	0	0	0	0	0
			障害児相談支援	1,666,258	4,197,626	102,307	4,299,933	△ 2,633,675	465,655	4,765,588	△ 3,099,330
			障害児指定特定相談支援	0	0	0	0	0	0	0	0
			一般相談	0	0	0	0	0	0	0	0
			広島市療育支援施設事業	607,950	2,670,964	86,706	2,757,670	△ 2,149,720	169,899	2,927,569	△ 2,319,619
			こども発達支援センター自主事業	0	0	16,000	16,000	△ 16,000	0	16,000	△ 16,000
	児童発達支援(ひよこ組)グループ合計	70,643,809	42,230,870	3,029,098	45,259,968	25,383,841	18,969,047	64,229,015	6,414,794		
	放課後等デイサービス(きっず組)	放課後等デイサービス(きっず組)	13,809,658	11,769,667	522,109	12,291,776	1,517,882	3,871,808	16,163,584	△ 2,353,926	
		自主プログラム	588,000	1,099,332	22,231	1,121,563	△ 533,563	0	1,121,563	△ 533,563	
	放課後等デイサービス(きっず組)合計		14,397,658	12,868,999	544,340	13,413,339	984,319	3,871,808	17,285,147	△ 2,887,489	
こども発達支援センター共通		センター共通	0	0	2,949,276	△ 2,949,276	△ 2,949,276	△ 2,949,276	0	0	
こども発達支援センター合計			85,041,467	55,099,869	6,522,714	61,622,583	23,418,884	19,891,579	81,514,162	3,527,305	
コミュニティほっとスペースぼんぼん	就労継続支援B型	日常生活指導(一般会計)	17,029,205	10,591,111	1,247,812	11,838,923	5,190,282	3,985,009	15,823,932	1,205,273	
		特別会計	3,000,000	1,200,000	1,800,000	3,000,000	0	0	3,000,000	0	
就労継続支援B型合計			20,029,205	11,791,111	3,047,812	14,838,923	5,190,282	3,985,009	18,823,932	1,205,273	
コミュニティスペースプログラム共通			0	0	72,000	72,000	△ 72,000	△ 72,000	0	0	
コミュニティスペースプログラム合計			105,070,672	66,890,980	9,642,526	76,533,506	28,537,166	23,804,588	100,338,094	4,732,578	
まちづくり・ボランティア育成プログラム	まちづくり	アートによるまちづくり	アート・ルネッサンス2022	740,000	0	740,000	740,000	0	0	740,000	0
			幸せProducts	1,438,800	0	1,438,800	1,438,800	0	0	1,438,800	0
			アートスペース	572,000	0	572,000	572,000	0	0	572,000	0
			アートサポートセンターひゅるる(広島県受託)	8,080,000	3,934,000	4,146,000	8,080,000	0	0	8,080,000	0
			アートサポートセンターひゅるる(自主事業)	103,200	0	103,200	103,200	0	0	103,200	0
			地域・社会啓発にぎわいづくり	150,000	0	150,000	150,000	0	0	150,000	0
	地域協力	0	0	0	0	0	0	0	0		
	地域交流	210,000	0	210,000	210,000	0	0	210,000	0		
	まちづくり合計			11,294,000	3,934,000	7,360,000	11,294,000	0	0	11,294,000	0
	ボランティア育成	ボランティアセンタープログラム	ボランティアセンタープログラム	320,000	0	320,000	320,000	0	0	320,000	0
ボランティアコーディネーター養成講座		ボランティアコーディネーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0		
広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力		広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力	0	0	0	0	0	0	0		
その他 講師・委員派遣		その他 講師・委員派遣	0	0	0	0	0	0	0		
ボランティア育成プログラム合計			320,000	0	320,000	320,000	0	0	320,000	0	
まちづくり・ボランティア育成プログラム合計			11,614,000	3,934,000	7,680,000	11,614,000	0	0	11,614,000	0	
災害支援			0	0	0	0	0	0	0	0	
	災害支援合計		0	0	0	0	0	0	0	0	
合計金額				118,914,812	84,325,086	29,362,566	113,687,652	5,227,160	0	113,687,652	5,227,160

※1 共通経費配賦は収益に基づいて配賦しています。

※2 HullFanとは正会員・賛助会員の会費収入のことです。